



RIテーマ

会報

クラブ 会長テーマ

『家和万事成』『利他の心』で親睦と奉仕に自ら率先しよう



2007-2-7 第 7 7 8 回例会 NO.17-29 2007-2-14 発行

◎司会 SAA委員会 由井 真司

◎点鐘 会長 関岡 俊二

◎国歌斉唱

ロータリーソング『奉仕の理想』

ソングリーダー 菊池 敏

◎お客様紹介 会長 関岡 俊二

岡山西南 RC 椎原 裕二 様

◎会務報告 会長 関岡 俊二

・昨年 RI 広報補助金に当クラブ「防犯パトロール」申請致しましたが慎重なる審査の結果補助金の対象になりませんでした。理由は既に完了したプログラムは補助金の対象にならないという事です。

・本日、国際親善奨学生応募者の中央大学総合政策学部 4 年生、仲田宗行君と面接致しました。会長、幹事、村上会長ノミニ、杉田 R 財団委員長同席。

・2 月 14 日 (水) 例会終了後 1 時 30 分より定例理事会を行います。

❖生奥和尚の 3 分間泡話❖

『つもった雪』 金子みすず

上の雪 さむかるな 冷たい月がさして

下の雪 重かるな 何百人ものせて

中の雪 さみしかるな 空も地べたも見えない

◎幹事報告 幹事 萩生田政由

・年会費まだの方はなるべく早くお振込下さい。

・配賦：「倫理意識高揚アピールの徹底」/ロータリーの友とガバナー月信 2 月号/Rotary International Master Card ご入会のお願い/抜粋のつづり

・回覧：2007-2008 年度ロータリー手帳を申し込まれる方は 2 月 21 日までに事務局まで。

◎次年度会務報告 会長エレクト 村上 久

本日、例会後、事務局にて第 2 回被選理事会を開催します。

【委員会報告】

◎出席報告 出席委員会 篠崎 一雄

会員総数 35 名

出席義務者数 34 名(出席免除者 1 名)

出席者数 28 名

欠席者数 6 名(事前 MU 0 名)

出席率 82.35%

補填 MU：伊藤 英也 1/31 理事会

1/24 最終訂正出席率 76.47%

◎ニコニコBOX 親睦活動委員会 加藤喜三郎

関岡 俊二 昨日、京都へ行ってきました。雪のない暖かい京でした。

萩生田政由 宮村さん、残念です。お酒が、鮎が、大松さん、楽しかったですか！！

城 正太 お誕生日を頂きましたので。ありがとうございます。

宮村 宏 障がい者のテニスの打ち上げでコーチ、受付がお世話になりました。

海野 榮一 そろそろお花見ですね・・・。

津守 弘範 例年になく、今年は暖かくこれから先はどうなりますか？

藤本 吉文 風邪を引きそうです。

村上 久 暖かな冬で楽々・・・

菊池 敏 暖かくなりましたですネ！

大松 誠二 宮村さん、テニススクールの反省会、ご苦労様。楽しかったですね。

加藤喜三郎 宮村さん、テニスの反省会、楽しかったです。！！

本日の合計 ¥16,000 (累計 ¥665,699)

◎その他委員会報告

*職業奉仕委員会 委員長 足立潤三郎

「倫理意識高揚アピールの徹底について」

今般、標記につて特段の配慮を促す谷島ガバナーの

メッセージが表明されたことを踏まえ当委員会は「職



行奉仕」の原点に立ち返り会員個々の自覚と自省喚起を目的にスローガンを設定いたしました。当委員会は本件の実施に際し

以下の事を推奨致します。

1. 新たに設定したスローガン“あなな言の行は人々の規範です すべて言の行は「四つのテスト」で”を「四つのテスト」の右側に並列して掲示すること。
2. 「四つのテスト」の唱和またはロータリーソング「四つのテスト」の斉唱の機会を努めて推進すること。
3. クラブは「人づくり」に、会員個々は「人づくり」に特段の配慮をもって啓蒙し合えるような場またはグループの形成に努める事。
4. 本件実施の始期は原則として2月第1例会とする事。

以上、ロータリーが真にロータリーであり続けるための自己研鑽の機会としてご認識頂くようお願い致します。

◎会員総会

議長 会長 関岡 俊二
司会進行 幹事 萩生田政由

『議案』CLP導入に伴うクラブ細則改正について
賛成多数により承認されました。

◎次年度幹事報告

次年度幹事 海野 栄一



本日、会員総会にてCLP導入に伴う「東京多摩グリーンロータリー・クラブ クラブ細則改定」を承認頂きましたことを踏まえ2007-2008年度に備える行動スケジュールをかいつまんでご説明申し上げます。

本日例会後の「被選理事会」では新しいクラブ細則にそって「クラブ委員会組織の編成」、「奉仕プロジェクト企画会議」進行運営のための「プロジェクト企画会議コーディネーター」および「記録ドキュメンター」の選任を審議頂く予定であります。

今後のスケジュールとしましては2～3月中に全会員による「奉仕プロジェクト企画会議」を、卓話の時間30分間を中心に若干の時間延長をして行わせていただければと考えます。(本年度プログラム委員会との調整が必要

となりますが・・・)

ここで、従来年度のクラブ運営とは異なる「例会プログラム」が組まれることとなります。すなわち例年ですと原則として当年度例会プログラムに「次年度のために当年度の例会時間」を割くことはありませんでした。CLP導入の後は「次年度の活動テーマ」が当年度の「例会プログラム中」に組み込まれるわけです。

この「奉仕プロジェクト企画会議」はCLP導入後のクラブ運営にとりまして、その成果が問われる「カナメ」となるべき「重要」な性格を帯びた「会議」となりますので会員各位におかれましては是非とも「活発なご発言」「ご提案」をいただければと考えております。また、この「企画会議」はクラブの「活性化」を促進する方策の一環でもあると位置づけられておりますところから開催回数は一度だけではなく複数回の開催が必要であろうかとも感じております。次に「企画会議」すなわち「会員の総意」が反映された「プロジェクト案件」が提案される時期を見越して・・・あるいは先行して「被選クラブ協議会」を開催。第1回目は2～3月中「奉仕プロジェクト企画会議」が提案される3～4月中に2回目を開催と予定しております。

一方、「奉仕プロジェクト企画会議」の提案を受けた段階で「奉仕プロジェクト立案委員会」委員を選任させていただき、「奉仕プロジェクト立案委員会」では「被選クラブ協議会」と平行して「奉仕プロジェクト」の立案にかかって頂きます。このあと「立案委員会」が提示する奉仕プロジェクトごとの「具体的内容」、「予算面の裏付け」、「スケジュール調整」等を「被選理事会」で審議。承認された「奉仕プロジェクト案件」ごとに「実施委員会」を編成。「活動計画書記原稿」が出揃うのが5月。(「活動計画書」の記載内容は「立案委員会」による提案内容は含まない?・・・等々の試行錯誤を経て・・・)

6月には印刷に取り掛かる・・・という運びとなります。次年度、当クラブではCLP導入初年度ではありますが同時に赤尾ガバナー補佐、遠藤グループ幹事をサポートする東グループ内でのホストクラブでもあります。その意味で、自クラブのみに軸足を置いたクラブ運営を行うことは許されない年度でもあろうかと存じます。

会員各位におかれましては通常年度とは異なるご配慮も増すであろう年度になるかと思えます。「ガバナー補佐事務局」も当クラブにおかれまして関係で事務局 西川さんには激務の一年が予想されます。

会員の皆様には「強力なご協力」をお寄せ頂きますようお願い申し上げます。

◎点鐘

会長 関岡 俊二

(今週の担当 杉野志保子)